

人事

各省郵政會復スル事  
以テ之レ補シ部長ヲ補佐シテ  
其代理ヲ爲ス  
右クハ同等官ヲ以テ之ニ補シ部  
任ス  
一人ヲ設キ各其主務ヲ分擔セシ  
計課ノ次ニ列シ候條此旨相違

海軍一般

海軍卿川村純義

海軍一般

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

海軍卿川村純義

任憲兵中尉  
憲兵少尉正八位勳六等  
憲兵少尉正八位  
憲兵少尉正八位勳六等

○明治十七年二月廿五日  
任海軍輔少書記官  
任海軍少書記官  
任海軍補少書記官

從六位  
大岩 啓  
山縣少太郎  
山口 長彌  
櫻井 省三  
黒川 勇熊

系賀虎次郎  
長澤 義之  
石川 敦古  
弘田貫次郎  
高橋 藤吾  
牛込 秀政

商學藝智徳ノ度マテ略ホ其大要ヲ知ラシムルハ即チ國民一  
般ニ外交ノ指導ヲ與フルモノニ於テ今日ニ於テ特大切ナル  
ト云フ可シ蓋シ我輩ノ宿論ニ日本ノ教育ハ外國ノ事情ヲ  
知ラシムルノ最モ必要ナリ之ヲ知ルノ道ハ先ツ彼ノ文字官  
語ヲ解スルヨリ始メテ漸ク其著書新聞紙等ヲ讀ミ又機會ヲ  
失ハズシテ彼ノ國人ニ交リ彼ノ本國ニ往來シテ文明ノ學ニ  
志ス可キハ勿論ナレハ既令レニ成ハ高尙ナル學術ヲ學ビ得ザ  
ルモノト通リ日本外ノ事情ヲ暗知スルノモノニモ之ニ益ス  
ルコト少ナラズ何事ヲ後ニシテモ洋學丈クハ其教育ノ區域  
ヲ廣クシテ只管コレヲ獎勵ス可シトシテ時トシテハ世論ノ餘  
ヲ避ケズシテ切實スルコト多キモ其微意常ニ此邊ニ在ルモノ  
ナリ

時事新報

外國ノ事態ヲ知ルノ必要

外交ノ主義ヲ開國ト定メテ諸國ノ人ト交際ヲ結ビ學問政治  
商賈等社會首要ノ事ヲ與ニシテ互ニ交リ互ニ競ヒ又互ニ利  
害ヲ爭ハントセバ先ツ諸國ノ強弱富貧文野智愚ノ度ヲ知ラ  
ザル可ラズ某國ハ文明ニシテ某國ハ不文ナリ此レノ兵力ハ  
強大ニシテ其レノ智工ハ無双ナリト一々先方ノ國柄ヲ心得  
、之ニ接シ之ニ應スルノ鹽梅ヨモ亦深ク加減ヲ費ハハ交際  
上ノ掛引キヨ於テ最モ大切ナルコトヲ先方ノ國柄  
ヲ知ラズシテ手當リ次第ニ應接シテラバ商賈上ニモ或不  
意ノ大敗ヲ取リ政治ノ交際モ互ニ齟齬ヲ起テ不都合續々輩出  
セン乃チ双方ノ交際ヲ冷シテ破裂ノ端ヲ開クモノコト諸國ノ  
外交上ニ取リテハ實ニ惡結果ヲ來スモノナリ故ニ開國外交  
ノ後ハ人ノ己レヲ知ラザルモノ固ヨリ思フ可シト雖トモ己レ  
ノ人ヲ知ラザルハ最モ愚ク可キモノナリトス海外友邦ノ國  
柄ヲ知ルハ斯ク誠ニ大切ナルハ所謂國情トハ即チ一國ノ人文  
ノ摸樣ニシテ之ヲ詳知スルニハ自カク學問上ノ知見ヲ要ス  
ルガ故ニ是レハ暫ク上流士君子ノ事トシテ尋常一様ノ人民  
ニハ各國地理上ノ區別ノ如キ極メテ淺近ノ事ニテモ之ヲ知  
ラシムルコト肝要ナリ從來我邦下流ノ民ハ外國ニ關スルノ智  
見一般ニ狹ク例ハ北米合衆國ハ北亞米利加洲ノ何レニ在  
ルヤ英ト佛トハ歐羅巴ノ何レノ場所ニテ對峙スルヤ獨逸露  
ノ三大國ハ何レノ部分ニテ大牙スルヤ等誠ニ簡單ノ關係ニ  
テモ之ヲ知ルモノハ寡然ナリ我邦政慶應ノ前後開國外交ノ  
初ニ當テハ獨リ下民ノコトナラズ上流高等ノ士人ニテモ外國  
人ヲ視テ唐人ト稱シ辨別ノ支那人モ黑色ノ「チグロ」人モ或  
ハ英米佛等ノ白人種ニ一様同視ノ唐人ニシテ初メヨリ其  
支那ナリ「チグロ」ヲ將テ英米佛タル間ハズ況ンヤ其國  
ノ區別シテ其地位方角ヲ知ルニ於テチグロ今日東京横浜等西  
洋各國ノ人ニ接スルノ地ニハ一般耳目ノ聞見モ亦隨テ廣  
クシテ此各國ノ國土ヲ承知スルモノモ亦甚ク多カラント  
雖モ一步チ田舎地方ニ踏ミ込メバ唐人ハ矢張り唐人ニシテ  
其唐人ノ國名ヲ知ラズ其國ノ位置遠近ヲ知ラズ開國外交ノ  
其時ト恰カモ無知ノ度ニ同ウスルモノ比々當然今日外交  
多事ノ際國民ノ知見ヲシテ狹隘ニ又斯ク疎昧ニ任シテ  
遂ニ之ヲ開クコトナカランナハ他年一日如何ナル不都合ナ  
生ズ可キヤ我輩ノ竊ニ疑慮スル所ナリ左レバ此等ノ人民ニ  
向ヒ先ツ各國ノ區別ヲ知ラシメ傳進シテ其強弱富貧ヨリ工

現ニ今日ノ支那人ハ國ヲ關テ外交シナガテ其外國ノ何物ヲ  
ルチ知ラズ東西南北共ニ僥夷戎狄ナリ中華ノ眼ヨリ之ヲ視  
レバ皆チ禽獸國タルニ過キズ英ト云ヒ米ト云ヒ佛ト佛獨ト  
云ヒ就レモ同穴ノ狐狸、同舟ノ洋鬼ニシテ人ヲ魅スルハ則  
チ一ナリ一概ニ之ヲ嫌フテ一概ニ近ツク可ラズトハ支那人  
一般ノ筆法ニシテ其外國ヲ知ラザルノ度ハ我邦開國ノ當初  
ニ比スルモノ尙一層ノ甚クシキモノニシテ客歲九月廣東ノ一  
揆ガ沙面ノ居留地ヲ舉擧シ火ヲ放テ稅關吏ノ家ヲ燒キタル  
ガ如キモ其稅關吏ノ英人ナリ將テ佛人タルヲ以テノ故ニ非  
ズ外國人ト聞ケハ無差別ニ之ヲ嫌惡スルノ際、偶々其情火  
ヲ洩スノ機ヲ得タルガ故ニ敢テ一擊ヲ試ミタルノニ廣東ハ  
多年開港ノ要地ニシテ外國人ニ接スルコトモ亦極メテ頻繁ナ  
レハ攘夷ノ念モ割合ニ薄ク他ノ支那人ヨリ之ヲ見レバ軍  
西洋ニ癢スルノ嫌アリトフナレハ其廣東人ノ所爲スラモ  
尙右ノ次第ナリ其他固ヨリ攘夷家ニ至テハ西洋人ヲ洋鬼ト  
稱シ夷匪ト呼テ之ニ達ヘハ面ヲ掩フテ其腥羶ノ臭ニ接スル  
チ好マズ行シコト鐵道線路ニ由ラズ電信線下ヘ頭ヲ蔽フテ過  
チ西洋人ヲ嫌惡スルノ餘リ併セテ其物マダ嫌ヒ甲乙彼此  
ヲ論ビズシテ一視同嫌其間ニ厚薄ナキモノ、如シ我邦コト  
ハ開港日尙淺ト雖モ上流ノ人士銳意西洋ノ文明ヲ採リ各  
國人文ノ摸樣ヲ詳カクシテ能ク之レニ接スルガ故ニ上ノ爲  
ス所下モ亦爭フテ之ニ倣ヒ國中羣夷ノ妖氣ハ文明ノ風ニ掃  
ハレテ復テ一點ノ塵チ留メテ青天白日外國國ト交リ上下漸ク  
之レト變フテ共ニ利害ヲ爭ハントスルノ念ヲ生シタルハ今  
後ハ都部ノ人民モ外國ノ何物タルヲ知リテ又其外國ニ區別  
チ立テ其富強弱ヲ知リテ之ニ交接スルノ鹽梅ヨモ亦加減  
チ費スルニ至ラン今日外交多事ノ際國中一般ノ人民ニシテ外  
國ノ事態ヲ辨ヘズ力ヲ盡ラズシテ外交ノ事ヲ處セバ一國ノ  
安危存亡モ亦將ニ測ラレザルモノナラン我輩ハ明日ノ紙上  
ニ於テ更ニ支那ノ近事ヲ書キ出シ果シテ然ル所以ヲ示サ  
ント欲ス  
(以下次號)

雜報

○御陵決定 今般京都府山城國紀伊郡六地藏村字金塚ト嶋  
ふる古墳と 桓武天皇の皇子伊東親王巨擘の御墓に、同國